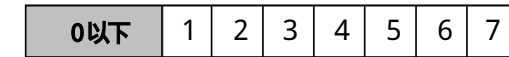


再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 1 - 31)

件名	脱硝塔の噴霧ノズルにおける詰まり	
事象の概要	(1) 発生場所: 機器 ウラン脱硝建屋: 脱硝塔 (2) 発生の状況 脱硝塔の運転中 (3) 概要 脱硝塔の噴霧ノズルの詰まりによる硝酸ウラニル濃縮液の供給停止	
事象による影響	(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 ウラン脱硝建屋の塔槽類廃ガス処理設備が稼働している脱硝塔内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。 (2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 噴霧ノズルの詰まりにより脱硝塔が停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。 (3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 ノズルの復旧作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。 (4) 他工程への影響 上流の工程の運転に影響が生じる。 脱硝塔の停止に伴い、ウラン脱硝建屋内のウラン脱硝工程の運転に影響が生じる。さらに上流の精製建屋以前の工程は、その中間にある一時的な貯留槽(硝酸ウラニル貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。	
対応の概要	(1) 詰まりが発生した脱硝塔を停止し、噴霧ノズルの詰まりであることを確認する。 (2) 定められた手順に従って、脱硝塔への供給液を硝酸ウラニル溶液から温水に切り替え、噴霧ノズルの洗浄を実施し、詰まりを解消する。 (3) 洗浄で詰まりが解消できなかった場合、定められた保守作業手順に従って、噴霧ノズルの交換等を行う。 (4) 噴霧ノズルの保守後、定められた操作手順に従い、脱硝塔の運転を再開する。	
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	(a) 運転継続しながら復旧 (b) 運転系統を切り替えて復旧 (c) 当該機器を停止して復旧 (d) 当該設備を停止して復旧 (e) 影響範囲の設備を停止	国際評価尺度 (INES) のレベル  (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射線物質の外部放出 工場外への影響 日本原燃による評価: レベル0以下 放射線物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転時隣接区域からの逸脱等 多重防護の劣化

